

- 1 日時場所 令和3年9月22日（水）9時30分開会
南魚沼市民会館 2F 会議室
- 2 出席者
委員：岡村秀康教育長、西野仁委員、角谷正雄委員、須藤文子委員、川島亜紀子委員
事務局：片桐教育部長、関学校教育課長、西潟社会教育課長、西潟生涯スポーツ課長、山田子ども・若者相談支援センター長、山崎図書センター長、小宮山管理指導主事、南雲管理指導主事、倉上指導主事、種村教育相談指導主事、久川囑託指導主事、青木学校庶務主幹、貝瀬施設主幹、林学校指導係長

3 議 題

日程第1 **会議録署名委員の指名について** 西野仁委員、川島亜紀子委員

- 日程第2 **教育長及び事務局諸報告**
 (教育長) (日程2ページ、教育長及び事務局諸報告のとおり)
 (社教課長) 補足説明
 (スポーツ課長) 補足説明
 (川島委員) 土曜学習の利用状況について聞きたい。
 (小宮山管理) 児童57名が参加。指導者も昨年並みの30名程度の方から協力いただいている。4回が終わっているが、順調である。今年度もコロナ対策として、児童間の交流はなかなかできないが、一生懸命学習している。
 (須藤委員) 9月議会の一般質問における、ヤングケアラーの実態についての答弁内容で、今年の9月頃に調査を予定しているとなっているが、すでに実施したのか、これからなのか。実施済みであれば、実態がどうだったのかを教えてもらいたい。
 (学教課長) 今回の調査は県の検討部会で行うもので、全県で調査をする。その結果については、集計を行ったうえで次回の県の検討部会で報告があり、その実態を見た中で今後の対応について協議をする予定だと聞いている。

日程第3 **管理指導主事等からの報告**

- (小宮山管理) 落ち着いた2学期のスタートとなっている。コロナに関しては、第5波の影響があり、国や県から文書が来るので、それらを取りまとめて、8月後半から4つの通知文を学校に出し、指導を行ってきた。
 (南雲管理) 落ち着いて学校生活を送っている。GIGAスクールについては、2学期から1人1人にタブレットが配布された。それに伴い、学校では少しずつタブレットを活用した授業が進められている。
 (西野委員) タブレットの配布について、報道でタブレットでのいじめというのがあったが、当市においてその可能性はあるか。
 (南雲管理) 当市で配布したタブレットには、今回のいじめに使われたチャット機能は整備されていない。SNSにもつながることはできない。学校には、情報モラル教育を徹底するようお願いしている。
 (川島委員) 1人1台タブレットの寿命、バージョンアップについてはどうなっているか。
 (学教課長) タブレットについては、貸与年数は5年と考えている。ハード的にはまだ使えると思うが、能力は落ちていくと思うのでそれくらいを考えている。バージョンアップ

については、全体を管理するソフトウェアで一斉に行う。

(倉上主事) 10月城内小学校の学校看護師は、10日間不足する見込み。そのうち4日間は、基幹病院の看護師が来てくれることになったが、残りの6日間は完全に穴が開く見込み。なんとかしなくてはと思っているが、人材がなかなか見つからない状況が続いている。

(種村主事) 前回、1学期の不登校が増えたと報告したが、現在、1人1人確認しながらケース会議のオーダーをして、順番に進めているところである。支援全体で、進んでいると思われるものと、困難だと思われるものがある。校内体制がなかなか揃わないということや、連携の難しさがある。

(久川主事) 10月、11月については、各学校への計画訪問が中心となる。来週の学力向上情報交換会でNRTのテストの結果分析を中心に、国語・算数・数学の説明をしていく。また、全国学力テストのデータも来たので、これから分析していく。

(角谷委員) 学校の体制という話があったが、それは体制を変えればうまくいくのか、仕組みが上手くいっていないという意味なのか、先生方の考え方の違いがあるからなのか。どれが主な理由なのか教えてもらいたい。

(種村主事) 3つの選択肢の中であれば、3番目かなと思われる。教員は1人1人信念を持って子どもに対応している。そこに「こんな支援策を」と提案しても、なかなか学校体制で整わないことがある。誰がリーダーシップを発揮しながら方向を揃えていくのか、そこに苦労がある。

日程第4 **第27号議案 就学援助の認定について（8月申請分）（資料は当日配布回収）**

(庶務主幹) (当日配布資料説明)

質疑なし

日程第5 **第28号議案 特別支援教育就学奨励費の支弁区分の決定について（資料は当日配布回収）**

(庶務主幹) (当日配布資料説明)

質疑なし

日程第6 **第8号報告 教育財産等の使用許可について**

(学教課長) (日程3ページ、教育財産等の使用許可について資料説明)

質疑なし

日程第7 **そ の 他**

(1) 子ども・若者相談支援センターの相談等状況について（8月分）

(子若センター長) (日程6ページ、8月分相談等状況について資料説明)

(須藤委員) 秋の自然体験の参加者10名は、若者も含めてか。

(子若センター長) 小中学生だけである。

(西野委員) 秋の自然体験というのは初めて聞いたが、過去にもあったか。

(子若センター長) 毎年、季節に合わせて行っている。

(西野委員) いいことだと思うが、これは子若センターのどの部分にあたるのか。

(子若センター長) 子ども支援に該当する。

(2) 家庭教育支援事業実施状況（8月分）

(社教課長) (日程8ページ、8月分家庭教育支援事業実施状況について資料説明及び先月の質問についての回答と説明)

- (角谷委員) 「その他」はどんな人達なのか。
- (社教課長) この場ですぐには回答できない。次回回答する。
- (西野委員) 学校によって0～239人までの幅があることについてどう思っているか。
- (社教課長) 受け入れ側の体制、運用の差が学校ごとにある。
- (西野委員) 差がどうして出たかはわかった。それを踏まえて、支援の仕方を考えた方がいいのではないかと思う。だんぼの部屋については、増やす予定はあるか。
- (教育部長) 出来る範囲で出来ることを、ということでやってきており、市の位置付けは有償ボランティアである。今後の課題は、地域と学校の結びつき、家庭教育支援、いろいろな結び付きの中で、子ども達の学習支援であったり、成長の支援をしていかなければならない。その中の1つとして、このだんぼの部屋に市としてどのような役割分担してもらおうか、位置づけていかなければいけない時期に来ている。

(3) 学校・地域の連携促進事業実施状況 (8月分)

- (学教課長) (日程9ページ、8月分学校・地域の連携促進事業実施状況について資料説明)

質疑なし

(4) その他

- (小宮山管理) (コミュニティ・スクールについて当日配布資料説明)
- (角谷委員) 上手くいくかいかないかは、作り方であったり、運営の仕方であったりだと思うので、最初の導入の時にしっかりと考え方を伝えていくのが大事。また、現在進めている教育基本計画にも、何かしら載せた方がいいのではないか。CSについて研修する機会があればいいと思う。
- (西野委員) アメリカへ留学した時に、アメリカと日本でのCSのイメージが全く違うと感じた。どんなCSが出来上がるのか注目している。
- (川島委員) 実際の具体性が想像できなかったが、今日の資料を見てわかってきた部分もある。CSを入れることでいい部分もあると思うが、学校によって差が出来るのではないかと心配でもある。慎重に進めてほしい。
- (須藤委員) 社会が変わっていくことが、子ども達の将来にも繋がっていくと考えると、CS導入はいいことではないかと考える。不足するところを補い合いながら、未来ある子ども達のためという視点が大事。何か新しいことをしなければならないということが先行してしまうと、現場の先生方の負担になってしまうと考えられるので、今ある活動を見直したり、改善したりとよりよく活動していけるように、無理なくスタートしてほしいと考える。
- (小宮山管理) 貴重な意見をいただいた。校長とのヒアリング期間を設けて、随時話を聞いて、意向を反映しながら進めていきたいと思っている。
- (学教課長) 中学校の土曜日・日曜日の部活動の地域移行について、9月1日のZOOM会議において、文部科学省より具体的なことが示された。それを受け、9月30日に学校教育課・生涯スポーツ課・社会教育課で会議を開催する。今後、いろいろなことが決まってきたら、資料と共に報告する。
- (教育部長) 次回日程について、10月27日(水)9:30から市図書館で行う。第11回教育委員会は、11月25日(木)9:30から市民会館で行う。以上をもって、第9回教育委員会を閉会とする。

10時53分閉議閉会